

平成23年9月11日執行

岩手県知事選挙選挙公報

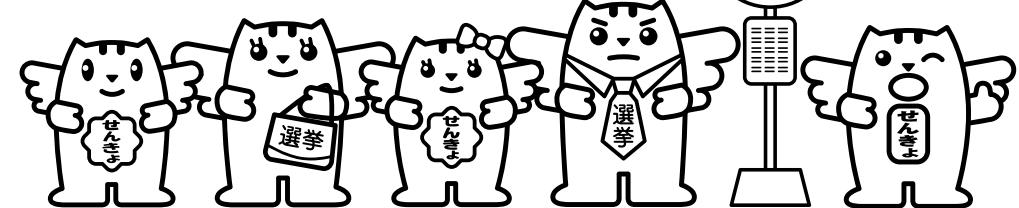
岩手県選挙管理委員会

～9月11日(日)に予定のある方へ～

期日前投票制度を活用しましょう！

- 次のような方は、期日前投票ができます。
 - ・投票日に、仕事や冠婚葬祭などの予定のある方
 - ・レジャーや買い物などの私用で、投票日に投票区内にいない予定の方
- 期日前投票は、投票日の前日9月10日(土)までできます。
- 期日前投票は、名簿登録地の市町村の役場等で行うことができます。
(期日前投票ができる場所については、市町村の選挙管理委員会にお確かめください。)
- 期日前投票ができる時間は、午前8時30分から午後8時までです。
(ただし、一部の期日前投票所では、この時間と異なる場合がありますので、
市町村の選挙管理委員会にお確かめください。)
- 期日前投票所へ行き、宣誓書に記入すれば、投票できます。
ハンコは必要ありません。

投票日のおでかけは、投票所経由で!



岩手県選挙管理委員会 TEL019-629-5238

平成23年
9月11日執行

岩手県知事選挙選挙公報

岩手県選挙
管理委員会

岩手県政を変える

去る3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による、甚大な被害がもたらされました。被災された企業、またその家族の皆様に対しましては、心からお見舞いを申し上げます。

今般の震災により、今後相当の期間にわたり、事業活動等に重大な影響が生じ、多数の方々がすでに生活の基盤となる職場を失っております。

私は、岩手で生まれ、岩手で育ち、岩手で事業を興しました。岩手があつてこそ現在の自分がいると感謝しております。

種々の困難な問題は山積と思います。そのひとつに雇用があると思います。

私は事業主の皆様の雇用維持の努力を一層協力に支援する為の対策を講じてまいります。復旧、復興財源問題は避けては通れないことだと思います。そのために

國もそうですが、県自体も歳出の圧縮・削減と、事業の見直しをしなければなりません。

私が知事に就任した際には、すべて無報酬で努めることを約束いたします。

このような状況の中で一刻も早い復興を成し遂げ、元気で希望に満ちた地域経済を再構築するため行動し頑張ってまいります。

今回で7回目の選挙への挑戦です。一回目を除いて公費を使用しないで、お金をかけない、独りでの選挙活動をしております。選挙ポスターは、全域に貼れないので貼って頂くボランティアをお願いします。何枚でもお送りします。電話かFAXをください。
芦名鉄雄選挙事務所 TEL 019(624)4467
FAX 019(652)3933



芦名
鉄雄



たか
はし
ひる
ゆき
高橋博之

高橋博之のプロフィール

1974年[昭和49年]7月31日花巻市愛宕町出身。花巻北中学校、花巻北高等学校、青山学院大学経済学部卒業。衆議院議員秘書、NPO法人事務局長を経て、平成18年の県議会議員花巻選挙にて初当選。2期連続でトップ当選を果たして県議会議員を務め、商工文教常任委員長、交流人口拡大・コミュニケーション再生調査特別委員長を歴任。毎日街頭演説を行い、各地の公民館での意見交換を精力的に行つた。

岩手県議員在職中は、議会改革に尽力。「岩手県議会基本条例」や「障がいのある人も共に生きる岩手県づくり条例」、「いわての水を守り育てる条例」などの議員提案条例の制定に携わる。

座右の銘は、「至誠天地を動かさん」。

情熱いわて

—持続する情熱こそが僕らの新エネルギー—

今、被災地、そして岩手からどんどん若者が流出しています。私は、岩手県で生まれ育った子どもたちが、岩手に暮らしたい、岩手で働きたい、岩手で子どもを産みたいと「誇れるような岩手県」を皆さんと創ります。

基本公約

- ▼原発に依存しない自然エネルギーの先端モデル県にしてします。
- ・小水力(田たまの水、小川等)発電、バイオマス(木材、生ごみ、家畜ふぐ豚糞)発電などの小規模分散型エネルギー自立モデル地域をつくります。
- ・農業用水を半導体に「廻転農田自然エネルギー日本「ドロハイド」」をつくります。
- ▼有機農業や自然農などの農林水産業の先端モデル県にしてます。
- ・田代税の創設と無駄な事業削減で財源をつくづく農林水産業を強化します。
- ・日本一の食料「安心・安全」についてを確立します。
- ・県立農業高校の存在意義を全面的に高め、農業の「口と口との接觸」を育む意欲ある担い手を育成します。
- ▼都市と地方の支えあいを強化します。
- ・都市型「ドロハイド」の価値を大都市に輸出し、都市型「ドロハイド」を獲得、同時に「住む」活性化も促進します。
- ・農業の象徴として国体開催を実現し、都市との交流人口拡大の促進を図ります。
- ・「エネルギー」と「次産業」で団結し、大都市圏やアグロを相手に「商談」します。
- ・岩手県民としての誇りと国対を抱いたせます。

自然を生かした産業を県が強力に推進し、「雇用」と「生きがい」のある県土を創造します

期日前投票制度を活用しましょう！

平成23年
9月11日執行

岩手県知事選挙選挙公報

岩手県選挙
管理委員会

岩手のちから みんなのちから 岩手には希望がある。

岩手には底力があります。

津波被害を受けた沿岸市町村が力を振り絞るのを内陸市町村、県、国が支援し、他の県と比較しても、仮設住宅の建設やがれきの処理、復興計画の策定が進みました。特に避難所での被災者生活支援については、自衛隊の大規模な支援もあり、他県の二倍、三倍の率で状況を把握し、きめ細やかに対応しました。市町村、県、国がフルセットで、被災地・被災者の寄り添う形が岩手にはできています。

岩手には復興の具体策があります。

8月、「岩手県復興基本計画」および「復興実施計画」ができました。岩手は本格的復興へスタートします。

復興の目指す姿 「いのちを守り、海と大地とともに生きる ふるさと岩手・三陸の創造」

復興に向けた3つの原則 「安全の確保」「暮らしの再建」「なりわいの再生」

復興に向けた具体的な取組

- ◇被災地における市街地整備のための新たな制度を創設し、安全・安心な防災都市・地域づくりを推進します。
- ◇漁業協同組合を核とした共同利用システムによる漁業、養殖業を構築し、地域に根ざした水産業を再生します。
- ◇津波被害による二重債務解消のため、復興支援ファンドを設立し、企業の再建を支援します。
- ◇岩手沿岸を縦に貫く高規格道路、沿岸と内陸を結ぶ高規格道路を「復興道路」として早期に整備します。
- ◇再生可能エネルギーの導入
- ◇保健医療・福祉の提供体制整備
- ◇県産木材の利用を促進
- ◇教育環境の整備・充実
- ◇国際リニアコライダー誘致
- ◇市町村の行政支援
- ◇地域コミュニティの再生・活性化
- ◇地域特性を生かした農業
- ◇観光資源の再生

「いわて県民計画」を着実に推進します。

岩手を担う人材
「ひと」を育成する。

「つながり」

岩手の地域資源の付加価値を高め、
「ゆたかさ」を実現します。

「県と市町村との連携」「全国・世界への発信」

県民一人ひとりが希望をもつことができる
「希望郷いわて」の実現を目指します。

■略歴 盛岡市生まれ、東大法学部卒。88年外務省入省、在シンガポール日本大使館勤務。96年衆議院議員、連続4期。07年岩手県知事初当選。

復興 岩手の未来づくり



民主党推薦

たつそ拓也

47才

県民の皆さんへ

三月十一日、岩手は東日本大震災津波に襲われました。犠牲になられた方々の故郷への思いをしっかりと受け継いでいくこと、被災された方々がそれぞれの幸福を追求できるようにしていくこと、あらためて誓いたいと思います。災害発生以来、人命救助、被災者支援、復旧・復興に力を尽くし、協力の手を差し伸べてくださっている県民の皆さんに対し、心からの敬意と感謝を捧げます。かつてない大災害に襲われた岩手ですが、かつてない県民の底力の發揮と、かつてない協力の輪の広がりにより、岩手は今力強く復興に邁進しています。「岩手県復興基本計画」ができました。岩手県は、いよいよ本格的な復興へ進み出します。また、全ての県民が希望を持つことができる岩手を実現しようではありませんか。



救援・復興 原発からの撤退

いのちとくらし、雇用を大切にする県政へ



明るい会・日本共産党すいせん

鈴木 つみゆ

TPP参加に反対し、農林漁業を岩手の基幹産業として守ります。

三、県民のくらしが大変な時だからこそ、いのちとくらしを応援する三つのことを直ちに実行します。

二、「原発からのすみやかな撤退」を発信し、自然エネルギー先進県をめざします。

一、「くらしの重建を最優先にすすめ、復興は「住民合意」で行います。

私の二つの約束

東日本大震災津波で亡くなられた方に心からお悔やみを申し上げます。被災されたみなさまにお見舞い申し上げます。岩手県が策定した復興基本計画は、もっとも大切な被災者の生活再建と生活基盤の回復の位置づけが弱く、被災した高田、大槌、山田の県立病院の再建整備が明記されていません。また、福島原発事故の影響で、肉牛が出荷停止となり、県民の放射能被害への不安が広がる中、知事は原発について、明確な態度をとっています。いま、県政がすべきことは、救援・復興に全力をあげ、放射能被害から県民を守ることです。私は県政の流れを変え、いのちとくらし、雇用を大切にする県政をつくります。

岩手県政は 民主、自民も地域政党も「オール与党」で…

■必要のないダムなどムダ遣い ムダと自然破壊の築川ダム(530億円)をひきつづき推進。国道、JR、三鉄よりも三陸縦貫道などの高速道路を優先。

■その一方で病院は切り捨て 被災した高田、大槌、山田の県立病院も再建計画なし。

元通り身近に入院できる病院を早くつくってほしい(陸前高田市で)

県議会では、予算には日本共産党以外が全員賛成。知事提案への賛成率が、民主99.8%、自民99.5%、地域政党98.3%、公明98.5%、社民96.2%と、文字通りの「オール与党」状態です。いま、何がすんでいるのでしょうか。

■国保への支援ゼロ 「高すぎる」と県民が悲鳴をあげているのに。

■原発にはだんまり 知事は原発をどうするかのアンケートに「無回答」(6月16日「朝日」)。6月の県議会では、原発からの撤退を求める請願に民主、自民が採決に反対。民主には岩手でも電力関係労組から献金。

地域政党の前回議は知事提案の予算にすべて賛成。花泉診療所の民間移管に賛成して、県民の願いに背を向けていました。

「鈴木つみゆ」はこんな人

賃金未払いや解雇・倒産など、年700件の労働相談を解決。若者の雇用を拡大するため、県との交渉などに全力。困った人をほうっておけない性格。頼りになる人です。早朝の岩手山が大好き。趣味はクラシック音楽鑑賞。妻と二人暮らし。

9月3日(土)から9月10日(土)までは、知事選挙と県議会議員選挙の両方の期日前投票ができます。

投票日は、9月11日(日)です。

投票時間は、午前7時から午後8時までです。

(ただし、一部の投票所ではこの時間と異なる場合がありますので、入場券・市町村広報などで確認されるか又は市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。)

～最近、県内で引越しをされた方へ～

投票しようとする方が、平成23年6月2日以降に岩手県内の市町村間で住所を異動した場合、投票の方法が通常と異なることがありますので、ご注意ください。

○ 該当する方

平成23年6月2日以降に県内の市町村間で1回だけ住所を異動された方

○ 投票方法（次の3つのいずれかの方法となります。）

- ① 前の住所地で投票（いつ？→投票日当日。どこで？→前の住所地の投票所で）
- ② 前の住所地で期日前投票（いつ？→投票日の前日まで。どこで？→前の住所地の期日前投票所で）
- ③ 今の住所地で投票（いつ？→投票日の前日まで。どこで？→今の住所地の不在者投票所で）

○ 投票の際には、前の住所地又は今の住所地の市町村の役場等で発行する「引き続き同一県内に住所を有する旨の証明書」（無料）が必要ですので、早めに交付を受けてください。

※ 詳しくは、最寄りの市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

岩手県議会議員の選挙区は次のとおりです。自分の選挙区を確認しましょう。

選挙区名	区域
盛岡	盛岡市
宮古・下閉伊	宮古市、山田町、岩泉町 田野畑村、普代村
大船渡	大船渡市
花巻	花巻市
北上	北上市、西和賀町
久慈	久慈市、野田村
遠野	遠野市
一関	一関市、平泉町、藤沢町

選挙区名	区域
陸前高田	陸前高田市、住田町
釜石	釜石市、大槌町
二戸	二戸市、一戸町
八幡平	八幡平市、葛巻町、岩手町
奥州	奥州市、金ヶ崎町
岩手	雫石町、滝沢村
紫波	紫波町、矢巾町
九戸	軽米町、九戸村、洋野町

自分の選挙区以外の候補者名を記載した投票は無効となりますので注意してください。